



# e vent

## 観光都市・博多に 新たに生まれた ソーシャルホテル

取材・文・撮影●編集部

### 訪

日外国人率5位(※)を誇る福岡県。県内の主要観光地である博多に、ライフスタイルホテル「THE LIVELY 福岡」(以下、ライブリー)が7月27日にオープンした。ライフスタイルホテルとは、ビジネスホテル等の宿泊特化型とは異なり、デザイン

1 吹き抜けが開放的なロビーバーは25時まで営業。2 宿泊者は17時30分～18時30分までフリービールが楽しめる。3 もとはシティホテルだった建物をリノベーションして生まれた。中洲の繁華街までは歩いてすぐの距離。

### DATA

#### THE LIVELY 福岡

住所 ●福岡県福岡市博多区中洲5丁目2-18  
URL ●<https://www.the-lively.com/fukuoka>  
料金 ●12,000円前後(素泊まり、税別、季節によって変動有)

性の高い空間と、宿泊以外の付加価値を持たせたホテルのこと。

ライブリーは「人と情報と機会が集まる場所」をコンセプトに掲げる。運営するのは、入居者同士の交流場所を備えた「ソーシャルアパートメント」事業を展開する株式会社グローバルエージェンツ(本社・東京都渋谷区)だ。

ライブリーがあるのは、博多の中でも宿泊場所が密集する中洲エリア。最寄り駅は地下鉄中洲川端駅だが、一駅隣の天神駅からも近く、繁華街から少し離れた静かな場所に位置する。

入口を抜けると、目の前に広がるのはアイランド型のロビーバー。



4 グローバルエージェンツ代表の山崎さん。5 大人6名が泊まれる最も広い客室「THE LIVELY Loft」。6 デイナーメニューは高菜漬けのポテトサラダや串焼き、あまおうのサラダなど福岡らしいメニューを提供。

普通のホテルならまずフロントデスクがあるはずだが、ライブリーはバーを中心にフロント、レストラン、ラウンジが周りに配置されているのが特徴だ。もちろん宿泊者以外も利用できる。週末はDJなどの音楽イベントも開かれるそう、訪れた日も宿泊者や外からの客で深夜までにぎわっていた。吹き抜けの2階には会合や結婚式に使えるバンケットルームが2室用意されている。さらに、簡易キッチンやビリヤード台を備えたコワーキングスペースも完備。24時間オープンで、宿泊者以外も1日2000円で利用できるという。待ち合わせ、食事、仕事、遊びと多彩な使い方ができるのがライブリーの魅力だ。グローバルエージェンツ代表の山崎剛さんは、「ソーシャルアパートメントで培ってきた、人が集う、コミュニケーションの場づくりをホテルでも再

現していきたい」と意欲を見せる。同社による初のホテル「ホテルグライフ根津(東京都台東区)」も、地域に開かれたカフェが併設されており、常連客と宿泊者が会話するところをよく見かけるといふ。「ホテルに宿泊だけを求める人もいますが、一方で地元の人との交流や、非日常な体験がしたいという方まで旅行者のニーズは広がってきています。LCCを筆頭に旅行そのものがカジュアルに変化していくなか、ホテルの在り方もどんどん変わっていくでしょう」と山崎さんは今後を見据える。

今年度は大阪の本町や神奈川の川崎など国内4カ所に新たな宿泊施設を開業予定。さらに台湾の台北へと初の海外進出も計画している。旅の楽しみ方が多様化している現代において、ライフスタイルホテルが地域と観光にどう影響していくのか、注目したい。

※=日本政府観光局(JNTO)の「2017年 都道府県別訪問率ランキング」より。